

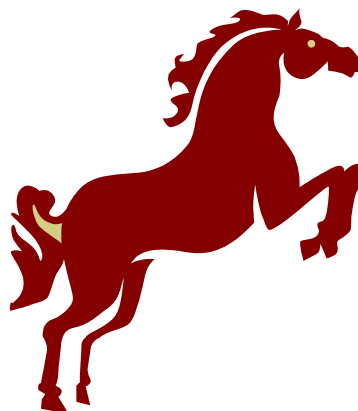
# 銭形通信

Vol.23

秋冬号



# 2014



新年あけましておめでとうございます。

本年も何とぞよろしくお願い申し上げます。



## Activity Report

### 今冬のぜにがた旅行は 山代温泉～三方五湖

昨年の12月3日、4日、銭形企画では初冬の恒例行事「ぜにがた旅行」に行ってきました。今回の旅先は、加賀の名湯山代温泉と若狭の名勝三方五湖。1日目、参加者を乗せたバスは山代温泉の老舗旅館「雄山閣」へ直行。大勢の車いすで訪れる私たちにもいつも親切に対応してくれるこの旅館は、今や「ぜにがた旅行」の定宿となっています。今回も予定よりも早く着いた私たちを快く笑顔で出迎えてくれました。

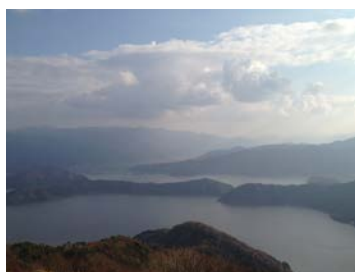
客室でゆったり過ごした後は、一年の疲れを癒すべく大浴場へ。早めにチェックインしたこともあり、ゆったりと温泉に浸ることができみんな大満足でした。



体が温まったところでお待ちかねの宴会がスタート。北陸の海の幸がドーンとテーブルに並び一同大興奮。酒に酔いしれる人、黙々と食べる人、自慢のカラオケを熱唱する人、みんな思い思いの旅情を満喫しました。

宴もたけなわとなり、舞台上にはおちゃらけたコスチュームに身をまとった職員が登場。今回の余興は氣志團の『ワンナイトカーニバル』。よく短時間でここまで仕上げたなという完璧なパフォーマンスを披露し、会場は大爆笑。楽しい時間はあっという間に過ぎ、みなさんオネムになったところで宴会はお開きとなりました。

2日目、旅館の人たちに見送られ、バスは福井県に移動。



三方五湖へ向かう前に敦賀市にある「日本海さかな街」に立ち寄りました。一行の目的はお昼ご飯とお土産探し。ここは北陸最大級の魚市場で、海産物のお土産を買うならここでしょ！という人気スポットです。



海鮮丼、お寿司、焼き鯖、ソースかつ丼、牛丼？・・・。日本海の旬を味わい、北陸ならではの土産をゲットした一行は最後の訪問地、三方五湖に到着。やはり冬の日本海、少し曇りがちで見通し良好とまではいきませ

んでしたが、眼下に広がる海と湖の大パノラマは、厳しい季節ならではの情趣が感じられました。今回の旅行は、行程に余裕がありみなさんのんびり楽しんでいただけただけではないでしょうか？ 次回のぜにがた旅行も是非ご期待ください。



# Information



## 人事異動のお知らせ

昨年10月1日付で役職人事を実施いたしましたのでお知らせします。

離任	上原 啓輔	Let's ゼニガタ（障害者居宅介護等事業）管理者及びサービス提供責任者を離任
着任	上原 啓輔	平成26年2月指定（開業）予定 銭形企画ケアマネジメント事務所（障害者計画相談支援事業）の管理者に着任予定 介護支援専門員業務を兼任
	三好 眞司	Let's ゼニガタ（障害者居宅介護等事業）管理者に着任 サービス提供責任者及びヘルパー業務を兼任
	平松 誠	銭形企画ケアマネジメント事務所（障害者計画相談支援事業）の相談支援専門員に着任予定 デイサービス（生活介護）の支援員業務を兼任



Let's ゼニガタ  
管理者 三好 眞司



銭形企画ケアマネジメント事務所  
管理者 上原 啓輔

昨年10月より、上原の後任としてLet's ゼニガタの管理者を命ぜられ着任いたしました。生まれは、「太鼓祭り」で有名な愛媛県新居浜市です。身に余る重責ではございますが、事業所理念にもある通りみなさまから「あなたに出会えてよかった」と言っていただけのように、新たな決意をもって専心職務に精励する所存です。浅学非才ではございますが、何卒ご指導ご支援を賜りますようよろしくお願い申し上げます。

昨年の新制度施行により実施されることとなった障害者計画相談支援事業に参入すべく、このたび「銭形企画ケアマネジメント事務所」を立ち上げ、当事業所の管理者に着任することとなりました。障害者ケアマネジメントという新たな社会システムが、障害をもつ方々の生活の質の向上に実質的に役立つものとなるよう努力を重ねてまいりたいと考えております。今後ともご指導・ご鞭撻のほどよろしくお願い申し上げます。

# 新年に合わせ事務所がリニューアル!!

銭形企画では、銭形企画ケアマネジメント事務所（障害者計画相談支援事業所）の開設を控え、ホームヘルプ事業部とケアマネジメント事業部（新設）の事務所を改修し、スタッフ一同新たな心持ちで新年を迎えることとなりました。

玄関の内外にスロープを設置したほか、床面をOAフロア化して動線からコンセントなどの配線をなくし、車いすや杖歩行のご利用者様にも安全して来訪していただける事務所になりました。

1階は、居宅介護支援事業と新開業予定の障害者計画相談支援事業の事務所、2階は、訪問介護事業と障害者居宅介護等事業の事務所となっています。

この事務所が、利用者のみなさまにとって身近に感じていただける地域の福祉拠点となるよう努めてまいります。いつでもお気軽にお立ち寄りください。



## Column

私は銭形企画に入社し8度目のお正月を迎えました。思い起こせば、平成17年11月の入社早々、Let'sゼニガタの管理者を仰せつかり、その翌年には介護保険の大幅改定と障害者自立支援法の施行があり、訳が分からぬままに数年が過ぎていきました。21年には介護福祉士試験に合格し、その夏には事務所の引っ越しがありました。23年には居宅介護支援事業所立ち上げとデイサービス和（なごみ）の建設移転の話がにわかには持ち上がり、24年にその2つの構想が無事実現しました。25年には介護支援専門員の資格を“一浪”のすえに取得しました。

「走りながら考える制度」と言われる高齢者、障害者の介護福祉制度。制度に限らず事業を営む私たちもまた走りながら進む道を模索してきたように感じます。この春、銭形企画は障害者ケアマネジメントという新たな道に踏み出そうとしています。昨年の末に私は慣れ親しんだLet'sゼニガタの看板を当社一番のナイスガイである三好眞司氏に託し、新事業参入への口火を切ることになりました。掲げるコンセプトは、『高齢者、障害者の制度の枠を超えた総合的ケアマネジメント』です。

「走りながら考える」を前提とする日本の社会福祉制度は一步誤ると迷走するリスクを常にはらんでいます。制度やサービスを利用する方々が決して“迷子”にならないよう、私たち事業者は柔軟性とともな確かな先見性をも磨いてゆかなければならないと考えています。

（執筆：上原 啓輔）

『銭形通信 Vol.23 秋冬号』

発行元：(有) 銭形企画 〒600-8357 京都市下京区黒門通五条下る柿本町 594 番地 33

T E L : 075-353-4880 (代) F A X : 075-353-4891 E-mail : mail@zenigata-kikaku.jp

編集：上原 啓輔（うへはら けいすけ） 高田 暁仁（たかだ あきひと）

「銭形通信」は、(有) 銭形企画の情報公表の一環としてご利用様ならびに関係機関のみなさまにお渡ししております。